

医療者のための 自死未遂者対応研修会

主催：NPO法人仙台グリーフケア研究会

自死既遂ハイリスク＝未遂者への対応を学ぶ

自死未遂者の心理、環境、現状を知ることから始めよう！

自死は個人の問題ではなく、社会の問題！

日時：**2013**年**12**月**15**日（日） **11**時～**17**時

会場：宮城県建設産業会館 仙台市青葉区支倉町2-48

講師：**松本 俊彦 先生**

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター副センター長

渋井 哲也 先生

ノンフィクションライター・ジャーナリスト

参加費：**無料**

定員：**90**名 締切：**12**月**6**日（金） **定員に達し次第終了いたします**

お問い合わせ：NPO法人仙台グリーフケア研究会事務局

Tel:070-5548-2186 Mail:griefoffice@gmail.com

お申込み方法：**裏面をご覧ください**

後援：宮城県、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県精神医療センター、
仙台市立病院（いずれも申請中）

お申込み方法：電話又はメールでお申込みください

Tel:070-5548-2186 Mail:grieffoffice@gmail.com



※メールでお申込みする際は、件名に【12/15研修申し込み】、
本文に【氏名・所属・電話番号】を明記の上、送信してください。

上記QRコードのご利用も可能です ↑ ↑

講師プロフィール

松本 俊彦（まつもと としひこ）先生



独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
自殺予防総合対策センター副センター長
薬物依存研究部診断治療開発研究室長
佐賀医科大学医学部卒業後、神奈川県立精神医療センター、
横浜市立大学医学部付属病院精神科、国立精神・神経センター
精神保健研究所司法精神医学研究部などを経て、2007年より
同研究所自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長。
2008年より薬物依存研究部室長を併任、2010年より現職。

渋井 哲也（しぶい てつや）先生

ノンフィクションライター、ジャーナリスト

1993年、『長野日報社』に入社。子どもの権利条約の検証、
戦後50年に朝鮮人・中国人の強制連行など連載。

1998年に退社後、若者の生きづらさ、自殺、自傷行為、家出、
援助交際、少年犯罪、いじめ、教育問題、ネットコミュニケーション、
ネット犯罪などを取材。東日本大震災やそれに伴う
原発事故・避難生活も取材を重ねている。



アクセス タクシー：仙台駅より約10分 地下鉄：勾当台公園駅より徒歩10分
バス：交通局大学病院前下車徒歩1分

